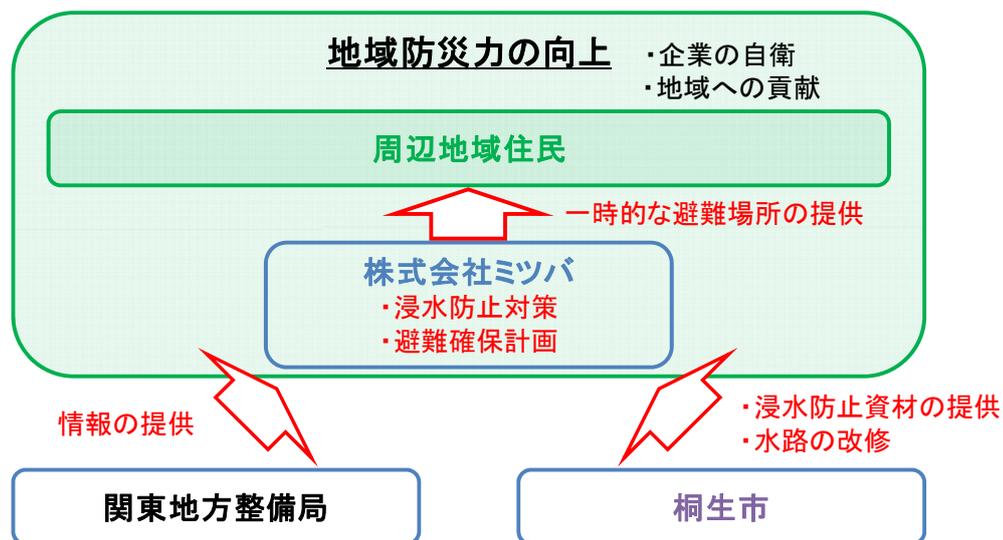
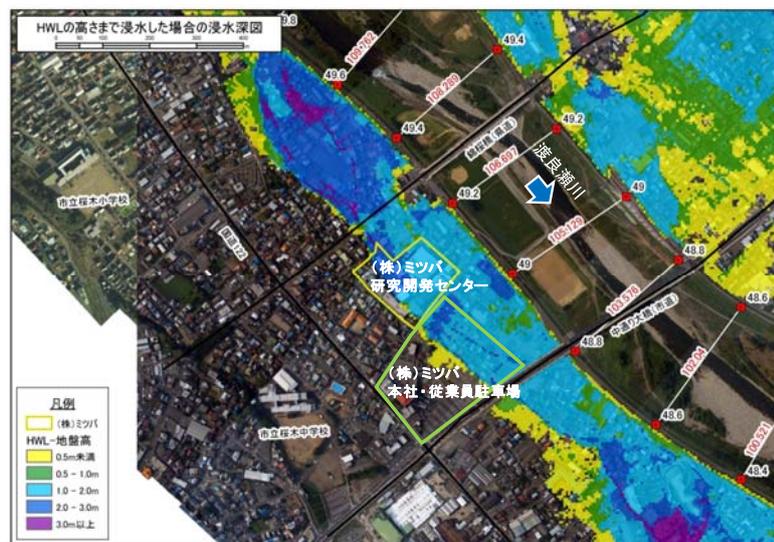


企業を中心とした地域水防について

平成 23 年 10 月のタイ王国における洪水被害では、日本の多くの企業も浸水被害を受け、サプライチェーンが寸断されたことで、その影響が世界中に波及しました。

渡良瀬川流域の浸水区域に本社及び研究開発センターを構える株式会社ミツバは自動車等のモーター類を製造開発し、主要自動車メーカーへの部品供給がなされています。株式会社ミツバが渡良瀬川の洪水氾濫被害を受けると企業自身が被害を受けるだけでなくサプライチェーンが寸断され、内外に大きな影響を及ぼす恐れがあります。このため、平成 24 年 9 月に「事業所の水害対策に関する検討会」を設置し、株式会社ミツバの浸水防止対策等について検討を重ねてきました。



地域経済の要である企業活動を浸水から守るための支援は、国土交通省社会資本整備審議会からも提言されている地域の要請であるとともに、企業に社会貢献を求められていることも踏まえ、企業、行政が連携して地域の安全・安心を確保することに取り組んでいくことが今後の減災対策として重要です。

この取り組みは、企業の減災対策実施への具体的な支援として全国初の取り組みとなります。

株式会社ミツバと周辺地域の水防体制に関する協定書締結調印式

1. 開催日時 平成 25 年 3 月 19 日（火） 16:00～17:00
2. 開催場所 株式会社ミツバ本社 6 階中会議室 （群馬県桐生市広沢町 1-2681）
3. 出席者 株式会社ミツバ代表取締役会長 日野 昇
株式会社ミツバ代表取締役社長 阿久戸 庸夫
桐生市長 亀山 豊文
国土交通省関東地方整備局長 森北 佳昭
群馬大学大学院工学研究科教授 清水 義彦（コーディネーター）
4. 議事次第
 - ①「事業所の水害対策に関する検討会」検討結果報告
 - ②「株式会社ミツバと周辺地域の水防体制に関する協定書」締結調印
 - ③ 講評
5. その他
 - ・ 報道機関による調印式の取材は可能です。なお、一般傍聴は出来ません。
 - ・ 取材の場合は、株式会社ミツバ本社 1 階受付で受付を済ませ、記者控え室でお待ち下さい。準備が整い次第、調印式会場へご案内します。

案内図

